

お花の栽培シリーズ「セイヨウオダマキ」

2009年8月	葉月(はづき)・桂月(けいげつ)・壮月(そうげつ)・仲秋(ちゅうしゅう)・雁来(がんらい)・秋風月(あきかぜつき)	●炎天がつづく時期
---------	---	-----------

●日本の夏は、熱帯並みの暑さになり、しかも日照時間が長くなるので夜まで暑さが残ります。これが「熱帯夜」で、寝苦しい日が続きます。
 ●強い直射日光、高い気温、それにとまなう水分の不足、そのうえ舗装面や壁面の照り返し・・・など植物にとっても酷な時期です。

庭木の作業	・高温乾燥期にはいるので、植え替えや手入れは行いません。中下旬になると再び害虫の発生が始まるので早めに防除します。
-------	---

草花の作業	・草取りと 乾燥したときの「水やり」が仕事です。 ・ダリア・サルビア・マリーゴールドなどは、秋の花を 立派に咲かせるためには、8月初め頃に株を切り込んで新芽を出させ、追肥をします。
-------	---

今月の誕生花	アスター、アマリリス、スイレン
--------	-----------------

今月の花	サルスベリ 花言葉/雄弁
------	-----------------

原産国の中国から日本に渡来した年代ははっきりしませんが、かなり古いうで、古い詩歌などにもよく登場しています。
 この木の幹の樹皮は、ツルツルとなめらか。そのため、「猿でもすべりそう」ということから、この名がついたといわれています。
 ロマンチックとはほど遠い名前とはうらはらに、白くこそげたような幹肌は、花のない季節に見ても、なかなかきれいなもので、床柱に使われるほどです。
 別名の百日紅は、夏の盛りに百日近く咲き続けるところからつけられたようで、花つきは美しく華麗そのもの。
 しかし、百日紅といわれても色は紅色だけでなく、白色、濃桃色、紫紅色などもあります。葉は無毛で、卵形、鋸歯はなく、互生しています。実はやや細長い球形をしていて、中には翼のある種子をもっています。
 華やかな咲きっぷりから『雄弁』とつけられた花言葉。おしゃべりな人に贈って、誤解されないようにしましょう。







原産地は中国南部。ミソハギ科サルスベリ属の落葉低木～小高木。草丈は3～7m。開花時期は7～10月。最盛期は7～8月。葉の形状は対生(互生)、無柄、長さ3～6cm。花色は紅、白、桃、紫。英名クレープ・ミルトル(Crapemyrtle)。別名ヒヤクジツコウ、百日紅(漢字表記)。花持ちは3～4日

亜熱帯に自生している白花のシマサルスベリは、近縁種です。
 水揚げが悪く、花穂が重くて活けにくいいため、市場にはあまり出回らない花です。

お花の栽培シリーズ

今月の花

セイヨウオダマキ

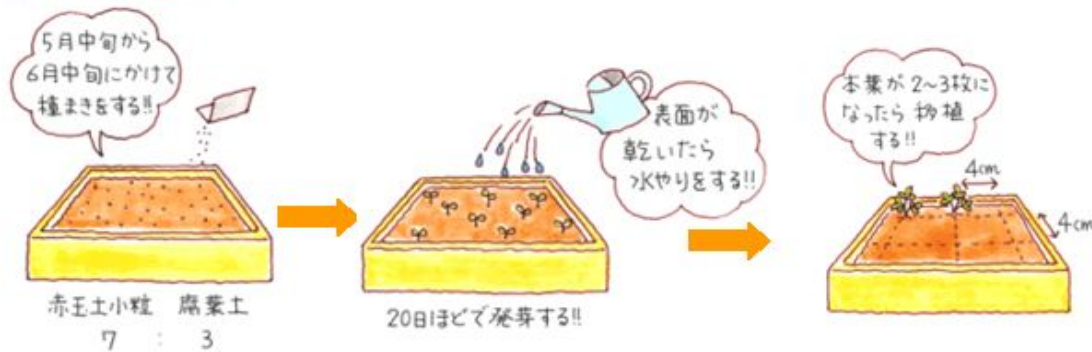
日当たり  日なた	水やり  ふつう	気温  15~25℃	草丈  10~90cm	花色 
--	---	---	--	---

キンポウゲ科の多年草です。
セイヨウオダマキはヨーロッパ原産の種類と、北アメリカ原産の種類との交配によりつくりだされました。5月上旬から6月中旬にかけて種まきをします。発芽した苗は、梅雨明け後は半日陰で育て、9月下旬に植えつけます。若葉を虫に食べられないように注意して育てます。苗がうまく育てば、その後の手入れは簡単です。株分けでふやすこともできますが、株が弱りやすいため難しく、あまりおすすめできません。鉢植えで育てている場合は、毎年植替えすることが必要です。耐寒性は強いのですが、夏の高温多湿は苦手です。本来は多年草ですが、温暖な地域では毎年種から育て、一年草として扱った方が育てやすいでしょう。



●種まきからの育て方

箱か平鉢を用意し...



5月中旬から6月中旬にかけて種まきをする!!

赤玉土小粒 腐葉土 7 : 3

20日ほどで発芽する!!

表面が乾いたら水やりをする!!

本葉が2~3枚になったら移植する!!

4cm

4cm

●挿し芽のやり方



200g/m² 有機肥料

2kg/m² 乾燥牛フン

西日の当たらない水はけの良い土壌に植える!!






植えつけは、9月下旬に行う!!

原肥として1㎡あたり乾燥牛フン2kgと有機肥料200gを1ほどこす



“おだまき”というのは、緋い糸を巻きつけて、玉のような形にしたものこと。これに似ているためオダマキの名前がつけました。和名ではまかに糸線草とも呼ばれます。英名はコランバイン。これは鳩のようなという意味で、花の形からつけられています。

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況	花期 											
植え場所	屋外の日当たりのよい場所				屋外の半日陰				屋外の日当たりのよい場所			
水やり	表土が乾いたら与える (2~3日1回)				表土が乾いたら与える (1日1回)				表土が乾いたら与える (2~3日1回)			
肥料	元肥 											
病気害虫	ダニやアブラムシの防除に薬剤を散布する 											
作業	種まき 				植えつけ 				植え替え 